

「一人じゃないよ となりには」

(校歌の一節)

春風が心地よく、若葉の緑が芽吹き始めた季節となりました。

このたび、4月1日付けて校長として着任いたしました、渡邊 英之です。温泉と豊かな自然に恵まれた別府の地で、新たな年度を迎えるにあたり、ご挨拶申し上げます。

本校は、昭和41年4月、現在地に肢体不自由単独養護学校として開校いたしました。その後、昭和46年4月には石垣原分校が、昭和56年4月には鶴見分校がそれぞれ分離独立いたしました。平成22年4月には、石垣原養護学校及び鶴見養護学校を統合再編し、大分県立別府支援学校(本校)と校名を変更、同年、病弱部門を新設し「肢病」併置校となりました。

今年度の全校児童生徒は、小学部17名、中学部23名、高等部24名の合計64名です。子供たちは、「あいさつ」を大切に、自ら考え、行動する“主体性”を発揮しながら毎日明るく伸び伸びと学校生活を送っています。

本校の教育目標は「児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育実践を通し、自立と社会参加を目指し主体的に学ぶに向き合い心豊かに生きていく児童生徒を育成する。」ことです。本校では、「自愛 友愛 感謝」という校訓のもと、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援に取り組んでおります。

特に、本年度は以下の3つの重点目標を設定いたしました。

- 1 児童生徒の主体的な学びを支える肢体不自由教育・病弱教育の充実
- 2 社会とのつながりや学びの連続性を意識した教育内容の改善
- 3 子どもに向き合う時間の確保を意識した働き方改革

私たち教職員は「チーム別府支援」のもと、保護者・福祉・医療・労働・地域との連携に努め、子供たちの自立と社会参加を目指した教育活動の実践に努めてまいります。

今後とも、保護者の皆様、地域の皆様、関係者の皆様の温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年4月1日

大分県立別府支援学校

校長 渡邊 英之

